

「無理せず、ゴールを目指す」

—SDGsをどのよう
に評価されていますか。
また、達成目標年203
0年まであと、5年に
迫っている状況です。
「大前提として私はS
DGsの理念は大賛成。
しかしゴールまで5年は
時間的に厳しいですね」
—その理由は。
「国は環境・エネル
ギー問題に一時は「車

に乗るのをやめよう。公
共交通機関を使おう」と
呼びかけましたが、多く
の人は不便だから応じま
せん。でも自家用車を工
コカーに変える人は増え
ました。無理や我慢をし
ない手法でゴールを目指
す方が現実的です」
—具体的に何をすべき
でしょうか。
「気候変動対策でい

ば、再生可能エネルギー
の技術革新でしょう。太
陽光発電や風力発電は使
い始めたばかりの技術で
ノウハウが蓄積されてい
ませんが、今後強力な研
究開発をのぞみます。S
DGsを提唱した国連が
世界の科学技術を結集
し、前進させていくこと
も一案です。残念ながら
ら、ガザやウクライナの

戦争もあり、それどころ
ではない状況。しかし、
SDGsを本気で達成さ
せるなら、世界のありよ
うを考え直すべきです」
日常生活見直しを
—私たちの日常生活で
できることは。
「まずはごみ削減で
す。ご家庭の冷蔵庫の中
で賞味期限が切れてるも
のありますよね。すぐに
捨てませんか？お金と手
間をかけて作った野菜、
海で採ってきた魚が捨て
られていく。消費期限を
見て必要以上に買わない
だけで済む。みなさん室
内の消灯には熱心ですけ
ど、食料を捨てることに

ケチン坊。少しくらい賞
味期限が過ぎているもの
でも食べますよ(笑)」
—気象予報士として現
在の地球環境は。
「人間の力では気候変
動を止められないだろう
と思っています。コン
ピューターの計算ではじ
りじりと温暖化してい
くはずなんです。実際は
急上昇。一方、この冬の
西日本の気温は低かつ
た。自然は予測不能な変
動を大きく起こします。
温暖化で海水温も上がり
強い台風が来ると言われ
ており、実際、日本付近
の海水温は過去にないく
らい高くなりました。け
れども未だに1934年
の室戸台風や1959年
の伊勢湾台風を超える台
風は来ていない。では異

な傾向がみられます。
います。その環境に人が
適応していくこと。SD
Gs的な対策を進めつ
つ、寒波や大雪、熱波や
洪水に備える。天気予報
は効果があります」
—最後に読者にメッ
セージを。
「私は防災士でもあり
ます。皆さん、災害が起
きても喉元過ぎるとすぐ
忘れる。だから繰り返し
伝えていかないといいな
い。準備できるのは災害
の発生前、地震なら揺れ
る前。命を守るため、今
やれること全部やってく
ださい。一人一人のでき
ることは限られています
。しかし知恵とお金を
戦争や軍拡でなく科学に
投入すれば、安全で素敵
な地球になります。みん
なで実現させましょう」



木原 実さん

- ・1960年生まれ。現在64歳
- ・藤沢市で育つ。神奈川県立厚木高校を経て、日本大学芸術学部演劇学科卒業。
- ・気象予報士、防災士、俳優、声優として活躍。
- ・日本テレビ系「news every.」お天気キャスターの活動は特に有名。マスコットキャラクター「そらジロー」とのかけあいが人気。
- ・(一財)防災教育推進協会理事

麻生区文化協会 俳句を募集

麻生区文化協会は、10月18日(土)に麻生文化センターで開催される「麻生区文化祭第三十七回俳句大会」の投句を受け付けている。

募集は未発表の作品で2句一組。何組でも可。投句料は一組1千円(切

手は不可)。麻生市民館などに置いてある所定の用紙に楷書で記入し、郵

便番号・住所・氏名・電話番号を併記の上、投句料を添えて、〒215-0004 麻生区万福寺1の5の2麻生文化セン

人物風土記

題字は
福田紀彦市長

○：県内で看護師などの業務に励み、顕著な業績をあげた人を表彰する神奈川県看護賞を受賞した。現在は川崎みどりの病院とたまひよ台病院で看護部長を務める。看護師や介護職の育成に長年尽力し、人事評価などの仕組みづくりを進めてきた。外国人雇用も推進。安定した人材確保につな

○：群馬県生まれ。小中時代はガールスカウト。優しく声をかけ、背中をさすっていた看護師。その姿が進路選択のときに感じた。がんを患った

リアンナ医科大学看護専門学校に進んだ。○：結婚後は子育てに専念し、仕事を離れた。子どもが小学校に入學すると、時間に余裕が生まれ、看護の道で活躍する友人がまぶしく見えた。約8年間のブランクがあ

り「現場に戻るのには不安だった」。勤務先では、その時の自身の不安を思い出しながら、仲間と共に看護師の復職支援プログラムを整備した。ナー

スコールが鳴る前に、患者の元へ向かう。そのために、とことん相手のことを知ろうと心掛けてきた。「あなたがそこにいてくれて良かった」。何

人を育て、安心生み出す



●第60回神奈川県看護賞を受賞した

中澤 美奈子さん

麻生区上麻生在住 65歳

○：趣味はウォーキング。直近は四国を巡るお遍路旅にも挑戦した。出会う人や食を存分に楽しむ。「今しかできないことをやりながら、老いを楽しみたい」と笑う。そんな人生観は、患者と深く接することで育まれたのかもしれない。

「後継者いらい」

町田駅近・勝楽寺

JR町田駅から徒歩5分の納骨堂「釈迦堂」写真真IIに関する見学説明

